

## 平成26年度 第2回沼田市子ども・子育て会議 会議録（概要）

### 会議の概要

開催日時	平成26年5月20日（火） 午後1時30分から3時00分
開催場所	沼田市東原庁舎 2階会議室
出席者 ◎会長	<p><b>【委員】</b> 浅沼委員、大山委員、小野塚委員、後藤委員、◎小林委員、田代委員、田中委員、中澤委員、庭野委員、長谷川委員、樋口委員、藤岡委員、宮田委員</p> <p><b>【市関係者】</b> 高山健康福祉部長、田村学校教育課長、西山健康課長</p> <p><b>【事務局】</b> 栞原子ども課長、小池子育て支援係長、青柳保育係長、金井主任</p> <p><b>【その他】</b> 業務委託者（地域計画株式会社 研究員1名）</p>
次第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>（1）量の見込み及び提供区域の設定について</p> <p>（2）その他</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども・子育て支援新制度について</li> <li>・ 量の見込み（ニーズ量）案</li> <li>・ 教育・保育の提供区域について</li> <li>・ 今後のスケジュールについて</li> </ul>

議事要旨

発言者	議事の経過及び発言の要旨
会 長	<p><b>1 開 会</b>  <b>2 会長あいさつ</b>  <b>3 議 事</b>  <b>(1) 量の見込み及び提供区域の設定について</b>  事務局から説明をお願いする。</p>
事務局	<p>資料「子ども・子育て支援新制度について」、「教育・保育の提供区域の設定について」及び「量の見込み(ニーズ量)案」により説明。  提供区域設定の3案については地図により確認いただきたい。それぞれ、メリット、デメリットがあり、区域を狭くすると利用者にとっては自宅近くに施設・事業が整備されることとなるため利便性が高くなるが、区域内で供給を整備する必要があり、結果として多数の施設・事業を整備しなければならないなど非効率的になりやすい。  事務局案としては、市全体を1区域として設定し、事業の進め方については各地域のニーズを勘案しながら進めて行きたいと考えている。</p>
委 員	<p>山間部等、人の住んでいない地域もあることから、提供区域を検討するには人口分布を地図に落とせば、よりわかりやすいのではないかと。</p>
事務局	<p>資料作成の技術的な問題もあり、配布資料の各地図の表から地域の人口を確認いただきたい。</p>
事務局	<p>量の見込み(ニーズ量)案については、資料「量の見込み(ニーズ量)案」をご覧ください。量の見込みの設定は「教育・保育」と「地域子ども・子育て支援事業」の2つに分けられる。「教育・保育」は就学前の子どもの幼稚園、保育園、認定こども園等のニーズ量をはかるものであるが、教育部門との調整を必要とすることから次回以降の検討課題として残し、今日の会議では「地域子ども・子育て支援事業」について各事業の内容とニーズ量(案)についてお示しする。  資料「量の見込み(ニーズ量)案 地域子ども・子育て支援事業」及び「子育てガイドブック」により説明。</p>
会 長	<p>区域の設定については事務局から市全体を1区域という案が示されたがいかがか。</p>
委 員	<p>事業ごとに区域は違うのではないかと。</p>
健康課長	<p>参考にお話しさせていただいたが、利根沼田の医療の関係では、今、市の</p>

発言者	議事の経過及び発言の要旨
	<p>中心部にある医療機関を生かして地域の医療を維持していこうという流れになっている。現在の子育て支援の施設を生かして質を高めるという方向で、市全体を1つのエリアとして今ある機能を十分に活用していく案は、最適かどうかはわからないが、現状として1番いい方法かと思う。医療面の子育て支援事業では病児保育、病後児保育があるが、これも1か所の施設に集約して実施することでいいと思う。</p>
委員	<p>1つの区域には賛成であるが、何か事業を起こしたときに、人口割の少ない地域の方たちに明確に回答できるエビデンスがあれば皆さん納得できると思う。人口割合やサービスのニーズについて市は数値を持っていると思うので、説明責任を果たせれば、効率ということ、財政が潤沢では無いということの中で最大限の効果をあげることを考え、区域設定1つということに賛成する。</p> <p>今後は、訪問型のベビーシッターの扱いや送迎等の活用方法を選べる形にバラエティに富んだ制度を準備し、できる限り柔軟な対応をしていただければ全市の公平性が保てると思う。</p>
委員	<p>区域については3案(全市1区域)で進めてよいと思う。人口の推計や未来の予測ができ、アンケート結果(自由記載分)には、様々な地域で様々な意見があがっており、地区によっては、保育園が無い、幼稚園が無いといったこともあると思われ、そういったことも含めてやっていくには第3案(全市1区域)がベストと思う。</p>
委員	<p>地域の区分とニーズ量の区分について、7区分にしたときにはニーズ量も7区分にして取り扱うということになり、たいへんだと思うが、その点を確認したい。</p>
会長	<p>区域ごとにニーズを分けることになる。</p>
会長	<p>事務局提案の全市1区域案については、それぞれの地域の状況、ニーズに対してフォローする体制を取るという意見をいただいたので、それを含めて全市1区分でニーズに対応していくということで決定してよろしいか。</p>
委員	<p>(意義なし)</p>
会長	<p>教育・保育の提供区域については「全市1区分」で決定する。</p>
委員	<p>今後の計画について提供区域は全市1区分となったことから、幼稚園の</p>

発言者	議事の経過及び発言の要旨
学校教育 課長	<p>今後の計画(統廃合等)についても、合併時の旧市村区域の概念は無くなったということにより確認したい。</p> <p>オブザーバーとしてお答えするが、公立幼稚園の統廃合については、検討委員会の結果を受けて、今後、教育施設の適正配置の審議会にゆだねることになる。審議会には私立幼稚園の代表も出席することになると思うので、その場でまた意見をいただくことになるが、当然、子ども・子育て会議の結果を踏まえた検討となる。</p>
委 員	<p>公立幼稚園の統廃合に関連して、公立幼稚園の認定こども園への移行については考えていないということによりよろしいか。</p>
学校教育 課長	<p>現在、提出されている検討委員会報告書(要望)では幼稚園の予定である。</p>
会 長	<p>今後、教育・保育のニーズ量の数値が示されたあとで、その確保方策と計画が立てられていくので、公立幼稚園が私立を圧迫しないということも含め公私立の連携がはかれることとなると思われる。</p> <p>教育・保育の量の見込みについては、教育委員会との調整後、精査して次回以降、検討をすることとする。</p>
会 長	<p><b>(2)その他</b></p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料「今後のスケジュールについて」により説明。</p> <p>次回の会議は7月開催予定。</p>
	<p><b>4 閉 会</b></p>